

農村集落部門：^{てて}手々集落

○ むらづくりの主体の概要

- ・名称：手々集落(徳之島町)
- ・代表者：稲 繁二(いね しげじ)氏

古くから伝わる伝統行事「ムチタボリ」を絶やさないよう、若い世代への継承に取り組み、ふるさと留学生や農業体験の受入による地域内外住民との交流により、地域の活性化に取り組んでいる。

むらの目標、将来像

- ・集落のリーダー等が集落の課題をくみ取り、住民の合意形成を図っている。
- ・月に1回、集落住民による話し合いを行い、集落が一体となった行事の実施につながっている。

「むらのかたち」の実現に向けた取組

数百年前から集落に伝わり、町の無形民俗文化財に指定されている伝統行事「ムチタボリ」を継承し、地域内外住民との交流を図っている。

- ・町立手々小・中学校と連携したふるさと留学制度により、都市部から子どもを受け入れ、集落の行事において、高齢者と子どもたちが一緒になり活動を行うなど、地域の活性化につながっている。

- ・イノシシ被害防止のため、集落住民で協力して侵入防止柵を設置するなど生産基盤の強化に取り組んでいる。

多様な主体との連携した取組

- ・地域の小学校と連携し、留学生も含め、途絶えていた集落の大行事「田植え祭り」を子どもたちの農業体験という形で復活させた。

<活動状況>



ムチタボリの様子



豊年祭の様子



手々小中学校運動会(手作り緑門)